

仕事と日常生活とのかかわりに気づくことをめざした授業

千葉県千葉市立生浜東小学校 教諭 栗原 弘毅

小学校3年 社会科
「コノマチ☆リサーチ」

【活用回・番組紹介】

「“スーパーマーケット”につれていってくれ！」
「まち」のない星から来た宇宙人ズビと漫画家のハジメと地域の人々との交流を通して、市町村を支えている仕組みや人々の仕事について学んでいける番組。

【授業デザイン】スーパーマーケットで働く人

1 買い物調べを行う。

普段の生活で家族や自分が買い物をしている店について1週間分を記録し、学級で集計する。スーパーマーケットに見学に行くことを伝える。

2 番組を視聴する。

番組を視聴し、見学の際の観点を確認する。

- ・お客さんが買物をしやすくするための工夫
- ・お客さんをお店に呼ぶための工夫
- ・お客さんが商品を買いたくなるような工夫

3 見学の計画を立てる。

3つの観点から工夫を調べるために、何を見てきたいか、どんな質問をしたいかを考え、見学の計画を立てる。

4 スーパーマーケット見学をする。

観点に沿って見学を行う。見てわかったことや、聞いたことなどをメモを取りながら見学を行う。見学をして新たに出てきた疑問があればその場で質問を行ったり、後日まとめて店長さんに質問を行う。

5 まとめる。

興味関心の近い児童でグループを作り、調べたことを壁新聞にまとめる。

6 発表会を行う。

保護者や他学年の児童に、それぞれのグループの調べたことを紹介する。

【本学級の学習スタイルと実態と関連したねらい】

実際に体験をしてみたり、活動を進めたりしていくうちに学習の観点を身に着けていく児童が多い。番組の視聴を通して見学の観点を身に着けさせ、スーパーマーケットの工夫について気づかせたい。

【今回の実践における番組効果】

- 1 新鮮な経験を与えて、豊かに想像力や学習への興味を育てる。
- 3 児童の思考を広げ、学習への意欲を向上させる。

【深い学びに関する教師の工夫】

○本単元で目指す授業デザイン

本単元のねらいは店舗の見学や調べ学習を通して、自分たちの生活とつながりに気づくことである。日常に買い物に行くときの視点とは違った見方で店舗の見学を行い、生活と密接なつながりがあることに気づかせ、興味関心の近いグループでのまとめを行う事で互いの気づきを共有し、深い学びを達成することができるのではないかと考えた。

○番組活用の意図

児童はスーパーマーケット見学への意欲はあるものの、どんなことを調べたらよいかという見学の観点をもてていなかった。事前に番組を視聴することで観点を獲得、共有できるのではないかと考えた。

見学時の質問を考えさせた後、相互に質問内容を読み合わせた。見学の趣旨に合わない質問に気づきお互いに指摘し合う場面が見られた。

○発表会の設定による相手を意識した活動

単元の終末には保護者や他学年の児童に対しての発表会を設定した。相手意識をもつことで、意欲をもち、調べたことをただ羅列するだけでなく、整理して発表できるようになるだろうと考えた。

【成果と課題】

番組を視聴してからスーパーマーケット見学に行ったことで、見学の観点を明確にすることができた。児童は番組内で扱われていた工夫が見学に行った店舗でも行われていたことに気づいただけでなく、店舗独自の工夫があることにも気づくことができた。調べ学習やまとめを行っていく中で、新たな疑問やさらなる興味が出てきた児童がおり、店長さんへのFAXによる質問などでさらに学習を深めることができた。今回の実践では児童の発表方法を壁新聞と設定したが、まとめを行っていくなかで他の発表形式で行ってみたいという児童が現れた。児童の興味関心、意欲に沿った発表形式を設定していく必要がある。また、再度の見学を望む児童も多くおり、店舗の協力を得て、複数回の見学を行えるような単元計画を作成する必要がある。